

あだち教育 だより

発行日 平成 28 年 4 月 1 日

発行 足立区教育委員会

編集 教育政策課

NO. 64

第7回中学生 「東京駅伝」大会

男女ダブル 優勝!!

女子メンバー表

石田 蓮	千寿青葉中
おおよま 桐子	第四中
おおよか 美虹	第九中
さとう 美咲	第十中
やまさき 未来	第十中
すずき 美穂	第十一中
はせがわ 絢音	第十一中
ほさか 亜希	第十一中
あらい 唯衣	第十二中
せきどう 木乃葉	第十二中
くわし 凜	第十二中
くわばら 紫優	第十二中
もりやま 詩音	第十二中
ほさか 晴子	第十三中
まつぬま 志透	第十三中
せきがみ あかり	第十四中
いした 菜	新田中
くろし ケリー-知花	東綾瀬中
わたなべ 順子	東綾瀬中
やまもと 亜美	花畑北中
さとう 歩未	花保中

男子メンバー表

さとう 広乙	千寿桜堤中
やまさき 大地	千寿桜堤中
ほりえ 純平	第四中
ふじもと 路世	第七中
むらい 敦	第九中
あくつ 優太郎	第十中
いしかわ 慧	第十一中
うえむら 晃輔	第十一中
すぎはら 悠太	第十一中
つるさわ 惇心	第十一中
ほが 優樹	第十一中
さかた 陸飛	第十四中
いのうえ 隼登	江南中
齋藤 知真	新田中
すずき 大輝	東綾瀬中
わた 雄平	東綾瀬中
つげみや 成哉	西新井中
あいざわ 凱亜	上沼田中
からさわ 凌	花畑北中
まつだ 暢生	花畑北中
こぼやし 吉輝	加賀中



18歳になったら 投票

私が決める 日本の

昨年、公職選挙法が改正され、選挙権年齢が20歳から18歳に引き下げられました。教育委員会では、選挙管理委員会事務局と連携した出前授業や模擬選挙体験を通じて、子どもたちに選挙権を行使することの重要性を伝えていきます。

出前授業

小・中学生の時から選挙への興味・関心を持ってもらうため、平成24年度から選挙管理委員会が行っています。平成27年度は第七中学校・入谷中学校・栗島中学校・六月中学校で開催しました。出前授業は、生徒会選挙の際に「選挙の大切さ」を伝えるために選挙の種類と原則、外国の選挙制度、投票する意味、年代別投票率、18歳選挙権などをテーマにした講義です。



選挙管理委員会の担当者は「若者の投票率が低いことについて、実際の数字を出すと反応が大きく、授業後生徒から、『投票の権利を大切にしたい』『自分で考えた一票で国や世の中を変えたい』といった声がありました」と話します。

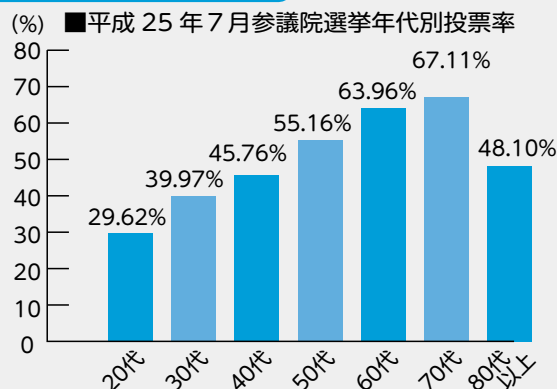


↑
実際の選挙で使用している投票箱や記載台を生徒会選挙などの際に貸し出しています。

Column

若者が投票に行かないと・・・

年代別投票率が1番低いのは20歳代。有権者に占める高齢者の割合が増し、政治への影響力が増大している中では、若者のための政治を期待するのが難しくなります。自分たちの声を届けるために、投票という行為は民主主義の根幹ともいえるものです。



海外は どうなっているの？ 権利 or 義務！？

日本では「権利」の投票も、オーストラリアやシンガポールでは「義務」です。オーストラリアでは投票をしないと罰金約2,000円が科されます。シンガポールでは投票資格が剥奪され、選挙権回復に約4,000円が必要です。そんな両国の投票率は90%超！！

ぼくが決める

模擬選挙

第四中学校の山田勝之先生は、約20年前から3年生の担当時に、公民の授業で「模擬区長選挙」を実践しています。座学による学習だけでなく、自分で考え、調べる「アクティブラーニング」の手法を取り入れた特色ある授業を紹介します。

授業の流れ

1 事前課題

生徒が区の現状や課題について事前にまとめ、保護者からアンケートをとります。

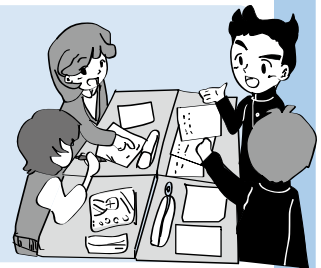
- 保護者にも協力を求め、家庭で親子の対話を促進することで授業への関心を高める。



2 議論

事前課題を元に、班単位で議論し、政策や代表者や広報など役割分担を決めます。

- 皆が取り組みやすいように、ごみ問題や学力問題など身近なことをテーマに設定。
- 作文が得意な人は演説文を、絵が得意な人はポスターを担当するなど、皆が参加しやすくする。



3 模擬選挙

各区長候補者の討論会を経て、投票し、決定します。

- 実際の投票箱や記載台を選挙管理委員会から借りることで臨場感を出す。
- 投票の際に保護者も投票できるようにして、参加を促す仕掛けをつくる。



4 模擬議会

当選者の班が行政、それ以外が議会の立場になり、模擬議会を開き、政策に対し質疑を行います。

POINT! プロセスが大切★

- ▶公正な判断をするために、みんなで意見を出し合い、さまざまな考え方があることを知り、その上で、真剣に話し合いをします。合意形成のプロセスが大切なのです。



社会科副読本
Fieldwork in Adachi 2015
(公民)



足立区教育委員会
足立区立中学校教育研究会社会部編



第四中学校
社会科
山田勝之先生

講義形式と違い、生徒が主体的に学習することで、生徒たちは楽しそうに取り組んでいます。授業を通して、選挙は他人事ではなく自分の身近な問題としてとらえ、自分たちが主権者であるという意識を高めてもらいたいと思います。

▶模擬選挙の授業展開例について山田先生が担当した社会科公民の副読本。各校に電子データ(DVD)として配付されている。[ぜひ他校でも参考にしてもらい、この取り組みが広まって欲しい]と山田先生。

◆主権者教育について
問合せ先

教育指導課 教育指導係 ☎ 3880-5974
教育政策課 教育政策担当 ☎ 3880-5962

足立区教育大綱を策定しました！

将来、社会の担い手となる子どもたちをどのように育てあげるかを示した、足立区の
“教育の基本方針”
です。

基本理念

夢や希望を信じて 生き抜く人づくり

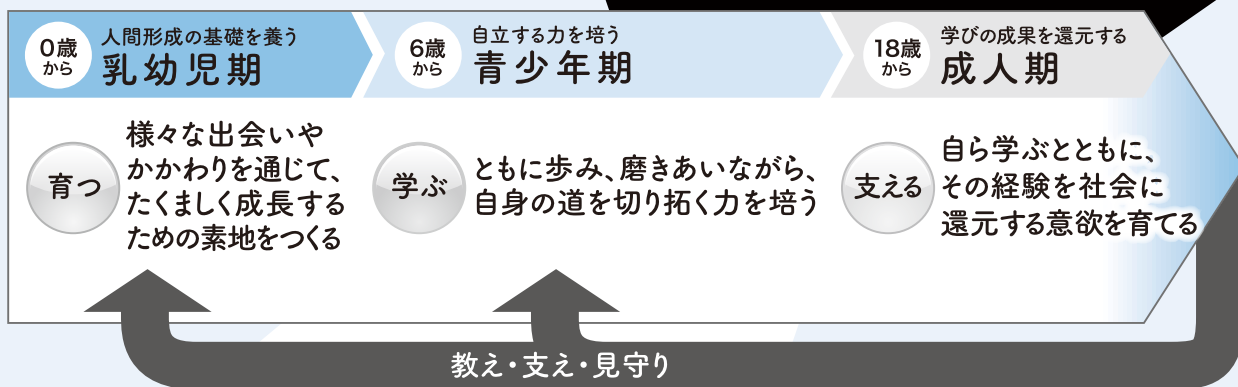
基本理念に込めた思い

大綱の基本理念には、迷いや困難に直面してもそれを乗り越える力、自らを信じ夢や希望を持ってたくましく生き抜く力を身につけて欲しいという思いを込めました。



世代別（乳幼児期・青少年期・成人期）理念の考え方

世代別に理念を掲げ、それに対する取り組みを示しています。さらに、各世代を通じて培った力が、次世代を支えていくという循環を示しています。



大綱の実現に向けた2本の柱

1 誰もが子どもを支える主役

子どもたちを社会全体で支え育てていくという視点

2 貧困の連鎖を断ち切る教育

「貧困の連鎖」を脱却するための欠かせない役割が「教育」であるという位置づけ

教育大綱の表紙となる「夢(ゆめ)」の字と「私の夢」をテーマにした作文をみなさんから募集しました。

児童・生徒による1,853点の応募作品から選ばれた教育大綱の表紙の「夢」は
東京都立城北特別支援学校 高等部2年
すぎやま みく
杉山 実来さん の作品です。

表紙の「夢」は
私が書きました。



『私の夢』

私の夢は、書道の先生になることです。

書道は硬筆と違い修正がきかないので、一筆一筆気持ちを込めて書くことが楽しいです。この楽しさを人に伝えたくて書道の先生になることを将来の夢にしました。

これからたくさん練習して、書で人を笑顔にできたら良いなと思っています。少しでも夢に近づけるように努力していきます。

大綱のリーフレットを、保存版として綴ってありますので、ぜひご覧ください。

大会ポスター最優秀作品
弘道第一小学校
かわはた ななみ
川端 七弥さん (5年)

小学生の部



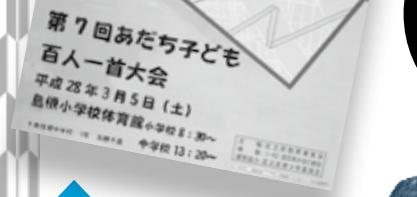
《個人戦優勝》
長門小学校
あかまつ さき
赤松 沙紀さん (3年)

「おじいちゃんと正月にカルタをしたのがきっかけで百人一首に興味を持ちました。覚えるのは大変だったけど、それが連覇に結びついて嬉しい、来年も優勝!」と、3連覇に意欲を見せました。長門小は今大会、児童のアイデアによるおそろいのTシャツで臨みました。

第7回あだち子ども百人一首大会

平成28年3月5日開催

中学生の部



大会ポスター最優秀作品
千寿桜堤中学校
かとう ああき
加藤 千晶さん (1年)

《個人戦優勝》
竹の塚中学校
いまむら みゆう
今村 美憂さん (3年)

「6年生の時に源平戦で初優勝をした時、中学では個人戦で3連覇しよう決めました。それを実現できて嬉しいです。百人一首をやったよかったのは、記憶力が良くなったのと礼儀も身についたことです。3連覇の今村さんが話す、強くなる秘訣はずばり、「好きになる事!」

静まり返る会場。歌が読み上げられる瞬間を聞き逃すまいと集中する子どもたち。参観者席には、日頃の努力の成果を存分に発揮してほしいと願い見守る大勢の先生方や保護者の姿がありました。

今大会では、区立小・中学校全106校から432人の子どもたちが参加し、3人1組の源平戦と個人戦が行われました。その激戦の中から見事優勝を飾った選手の皆さんをご紹介します。



《源平戦優勝》舎人小学校
(写真左から)
ただの さや
但野 沙耶さん (6年)
おおづつみ ほなみ
大堤 帆南さん (6年) ※個人戦メンバー
いづまり ゆうき
新妻 琉希さん (6年)
おの かん
小野 花音さん (6年)

3人で攻めと守りの役割分担をしたのが勝因でした。1年前からチームを組み、どこに行くときも歌のプリントを持ち歩いて覚えしました。百人一首は、札をとった時の爽快感が好きで、さらに最近は歌の意味が分かってきて、また違う面白さを覚えました。



《源平戦優勝》栗島中学校
(写真左から)
よしなが まりか
吉永 真理花さん (3年)
はまや ゆうき
濱谷 友紀さん (3年)
はせがわ くるみ
長谷川 胡桃さん (3年)

「嬉しいよりもまずはびっくりしました! 他の強豪校がいる中で勝てたのは、中1から3年間同じチームで息が合っていたのと、3人の得意な歌がバラバラでうまく分担できたこと。札の並びも良かったからです」と大会を振り返りました。

小中学校のPTAでは、ほとんどの方が始めは「わが子のためならば」と、委員や役員を引き受けていると思います。16年前の私もそうでした。そして、PTA活動を通して学校の中のことが少しずつわかるようになり、保護者同士や先生方との交流を持つことで信頼関係が築かれ、PTAの輪が広がっていきました。いつの間にか、わが子だけでなく、学校中の子どもたちのために、たくさんの保護者が協力しあって活動していました。活動の合間に、こっそり学校生活をのぞいては、家庭の姿とは違ったわが子の姿に成長を感じて嬉しく思ったものでした。

子どもの教育環境や生活環境を把握することは、保護者にとっても子どもを育てる上で必要なことです。特に義務教育の9年間は人間形成の基礎基本ができあがる大切な時期であり、成長も著しいです。家庭と学校と地域の中で、バランスよく「知・徳・体」を身につける教育が子どもたちには不可

欠だと思えます。中でも家庭における教育は、子どもが生まれたときから始まっている教育の原点ではないでしょうか。子どもの一番身近な大人がお手本となる教育が家庭教育です。まず、私たち大人がしっかりとした姿勢を見せることが望ましいと考えます。

私は、未来に夢と希望を持つ子どもたちが、たくましく生き抜く力を養うための教育環境や生活環境の整備に取り組んでいきたいと思えます。

教育委員コラム

『大切な家庭教育』

足立区教育委員会 委員

すぎた なおこ
杉田 直子



- 任期-
- 平成27年12月22日～平成30年3月31日
- 略歴-
- 足立区社会教育委員
- 足立区民生・児童委員
- 足立区立中学校PTA連合会長
- 東京都公立中学校PTA協議会副会長

おいしい給食がクックパッドに登場!!

日本最大の料理レシピサービス「クックパッド」に足立区の公式キッチン「東京あだち食堂」を開設しました。

皆様ご存知の「おいしい給食」のレシピや「早うま!かんたんベジレシピ」など舌もからだも喜ぶ、足立区自慢のレシピが満載!

ぜひアクセスして献立のご参考になさってください。



東京あだち食堂 検索



給食の食材について

食品中の放射性物質については、現在、各都道府県で農産物や水産物を出荷段階で検査し、基準値を超えた場合、出荷制限をする体制が確立されています。足立区の給食は、これらの情報に基づき食材を選んでいます。

なお、放射性物質の検査結果については、右記のホームページなどから確認することができます。

※各都道府県の農林水産物の放射性物質検査結果は、都道府県のホームページなどから確認することができます。

公益財団法人 東京都学校給食会
「取扱物資の放射性物質検査について」

東京都産業労働局「都内産農林水産物の放射性物質検査の結果について」

東京都福祉保健局「都内流通食品の放射性物質検査結果について」

教育委員会の活動

◆動き

(平成27年11月から平成28年2月)

教育委員会には定例会4回臨時会1回の開催を通じて21件の議案が付議され、審議の結果すべて可決されました。

《主な議案》

- * 足立区立学校設置条例の一部を改正する条例の送付について
- * 足立区特定教育・保育施設、特定地域型保育事業等の利用者負担に関する条例の一部を改正する条例の送付について
- * 足立区育英資金貸付条例の一部を改正する条例の送付について

◆会議の傍聴

会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

教育委員の活動

- 11月 教育委員協議会
小・中学校周年記念式典
- 12月 中学校長会教育懇談会
教育委員協議会
- 1月 成人の日の集い
第7回総合教育会議
教育委員協議会
- 2月 開かれた学校づくり協議会
会長意見交換会
第8回総合教育会議
教育委員協議会
青少年問題協議会(教育長)

ありがとうございました
足立区育英資金寄附金

● Alegria 飯田 芳子様 ● (公社)足立法人会 青年部会一同様 ● 中村 政信様
● 東京土建一般労働組合 足立支部様 ● (公社)足立法人会様 ● 足立明るい社会づくりの会様 ● 匿名 4名

- ◆教育委員コラムについて
- ◆おいしい給食について
- ◆給食の食材について

教育政策課 教育政策担当 ☎ 3880-5962
学務課 おいしい給食担当 ☎ 3880-5427
学務課 学校給食係 ☎ 3880-5975

- ◆教育委員会の活動について 教育政策課 庶務係 ☎ 3880-5961
- ◆足立区育英資金寄附金について 学務課 助成係 ☎ 3880-5977

平成 27 年度から「児童・生徒が学校の良いところを
見つめなおし、自らの学校を愛する心情を高める」ことを
ねらいに、**ビューティフル・スクール運動**をスタートしました。

各校の活動に対して、教育委員会より、
「ビューティフル・スクール認証書」を交付。
平成 27 年度は特に優れている活動として、下記の 4 校を
特別認証しました。

花畑第一小学校

みなはな交流 (南花畑特別支援学校との交流活動)

3年生が総合的な学習の時間に、障がいのある友だちと楽しく活動することを目的として、南花畑特別支援学校の3・4年生と年間を通じて交流学习を行っています。ゲームをして遊んだり、歌ったり、踊ったりして、楽しい時間を過ごしています。



上沼田中学校

みんなで取り組んだ ダンス

自分の学校に誇りを持てるように、全校生徒がダンスに取り組んでいます。「全国小・中学校リズムダンスふれあいコンクール」に出場し、26年度は自由曲部門で文部科学大臣賞(優勝)、27年度は自由曲・課題曲部門で1・2年生が準優勝を収めました。



辰沼小学校

子ども主体のいじめ防止活動 (TKR)

子どもが主体となって、TKR(辰沼キッズレスキュー)を結成し、いじめ防止のための校内パトロールなどを行っています。常時200名以上の隊員が活動しており、子どもたちの心に「いじめは絶対に許さない」という姿勢が育っています。



鹿浜五色桜小学校

2分間走・持久走

毎日、中休みの終わりに、全校児童が2分間走に取り組んでいます。教職員も一緒に校庭を走り、子どもの体力向上に向けて学校一体となって取り組んでいます。その結果、12月の持久走大会では、ほぼ全員が完走を果たしました。



ビューティフル・
スクール運動
始まりました!

第7回中学生「東京駅伝」大会 男女ダブル優勝足立区選抜チーム

すごいね！ あだちの 子どもたち

VOL.17

第7回中学生「東京駅伝」
大会で足立区選抜チーム

は、男女ともに初優勝し、総合タイムでも、総合優勝を果たしました。男女ダブル優勝は、第1回大会の町田市以来の快挙！！

足立区のこれまでの総合成績は、3位以内と好成績ながらも優勝がかなわず、まさに悲願の勝利となりました。

互いを信じる気持ちが勝利へ

「絶対的なエースがいなくて、優勝は厳しいかもしれない」。これが第1回大会から子どもたちの指導を担当してきた第十中学校の近藤敏孝先生が今年のチームを見た第一印象でした。しかし、練習を重ねるうちに「タイム差がなく安定し、レース後半にペースアップできる選手たちだ」との手ごたえを感じてきたそうです。

本番では、いくつかの区間で競り合いになるなど気の抜けないレース展開でしたが、スタジアムの画面で選手の顔色や走りを見て、コースに立つスタッフやコーチを通じて情報を共有し、細かい指示や声援を送り続けました。練習を通じて生まれた「最後まで頑張り抜くことができる選手たち」「自分たちの力を最大限に引き出してくれる先生たち」というお互いを信じる気持ちが、最高の結果に結びつきました。



先輩から後輩へたすきを

当日は、クラスや部活動の仲間、先生、保護者に加え、過去の駅伝チームの先輩たちも応援に駆けつけました。昨年のチームキャプテンから「自分たちが果たせなかった優勝を絶対にしてほしい」と激励をもらい、「自分たちの代でやるしかない」と開会式前にみんなで円陣を組み気合を入れました。

途切れることなく続いていた、コース上でのたくさんの声援が選手の辛い気持ちを力に変えました。「走るしかない」と強く後押しされた」と多くの選手は語ります。

今年のテーマは、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。アンカーを務めた男子の飯川慧、女子の黒石ケリー知花両キャプテンは「42名の仲間、先輩、先生みんなの思いが詰まったたすきをゴールへ一番に届けたい」との思いで走り抜きました。

選手たちは「来年、自分たちも絶対スタジアムに駆けつけて後輩たちを励ませたい」と、すでに来年に思いをはせた「たすき」がつながっています。



◆教育政策課 教育政策担当 ☎ 3880-5962

「あだち教育だより」にご意見・ご感想をお寄せください。

足立区教育委員会事務局 教育政策課 ☎ 3880-5962 E-mail: k-seisaku@city.adachi.tokyo.jp

「美しいまち」は「安全なまち」

ビューティフル・ウィンドウズ運動展開中

足立区

印刷番号 27-313